学校通信　**道**　No.２　　令和７年５月２３日　　秋田県立大曲工業高等学校
校長　柴田　　修

日頃より保護者の皆様には御支援御協力をいただきましてありがとうございます。前回お送りしました学校通信では「躍進No.1」というタイトルでしたが、この度より「道」と改めさせていただきます。

「道」という言葉は、本校正門を入ってすぐ正面の柏の木と並んで設置されている松下幸之助氏の筆による石碑にあるものです。本校卒業生の記念として世界でも有名なレジェンドである方が書かれたものとして、日本国内の高校でもそうはないと思います。とても誇れるものです。

話は変わりますが、「道」の石碑と並んでいる柏の木の様子をご覧ください。朝、出勤した際に私が撮影しました。５月１６日（金）の時点では、柏の古い葉がまだじっと残っていました。１９日（月）には、新しい芽が出て古い柏の葉が全て落ち、空に向かって緑がきれいな新しい柏の葉が一斉に出ていました。ご存知のとおり、柏の木は新しい芽が出るまで古い葉が落ちないで残っていることから「家を継ぐ子どもが生まれるまで親も元気に過ごせる」と言われ、「柏餅」は子孫繁栄を願うための縁起物です。

本校の守り神のような柏の木が今年も生長しています。

５月１６日(金)

５月１９日(月)

続いて、校長室をご案内します。校長室には次のような額が掲げられています。

「正忍創」は校訓、「躍進」は卒業生の記念として考えられた言葉で体育館に大きく掲額されています。大曲工業の信条として受け継がれています。

「章志貞教」とは、「志をあきらかにし、教えをさだめる」を意味するものです。先生方に向けられた贈る言葉だと思います。

このような言葉を教育活動に生かしてまいりたいと思います。